

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第16週 (ARIのみ第15週) の発生動向

・手足口病 (定点把握対象疾患)

第16週(4/13~4/19)の県内定点当たりの報告数が5.7となり、流行警報レベル開始基準値(5)を超えた。定点当たりの報告数が流行警報レベル開始基準値(5)を超えるのは2024年以来である。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	なし
			50歳代	男	肺結核	咳、痰、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	水様性下痢、血便、O111(VT型不明)
		高鍋	10歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
		中央	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、眼症状
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は374人(定点当たり25.3)で、前週比127%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、第15週の急性呼吸器感染症の報告総数は949人(定点当たり33.9)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は63人(4.2)で、前週比170%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約1.5倍であった。年齢群別は5歳から8歳が全体の約6割を占めた。

【感染性胃腸炎】

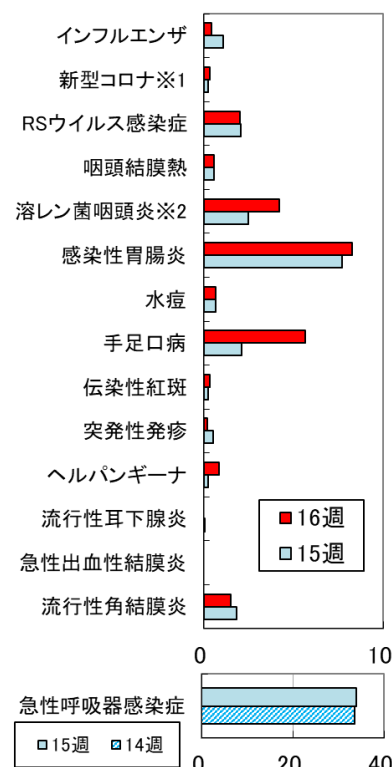
報告数は124人(8.3)で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.4)の約0.8倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

【手足口病】

報告数は85人(5.7)で、前週比266%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約2.1倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約8割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

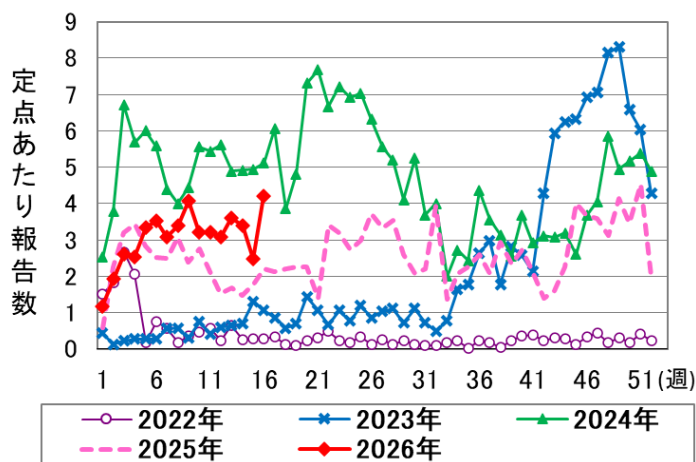


定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

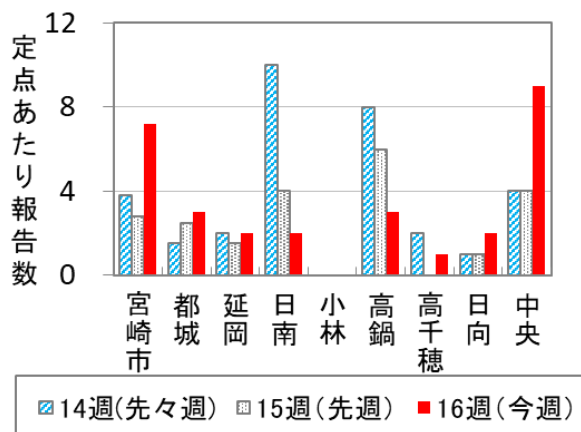
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

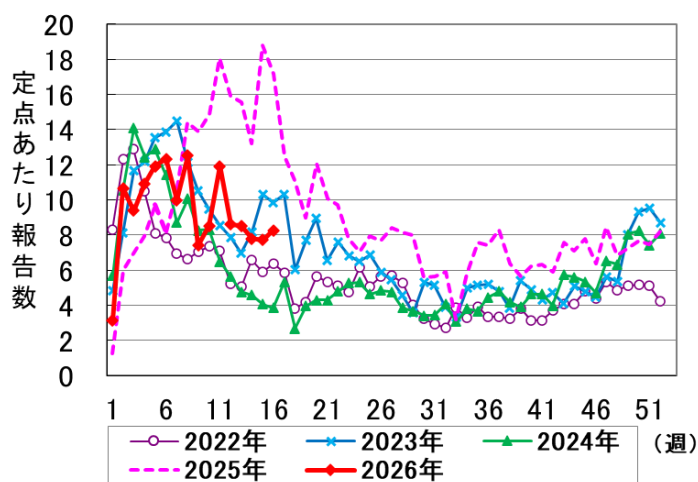


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

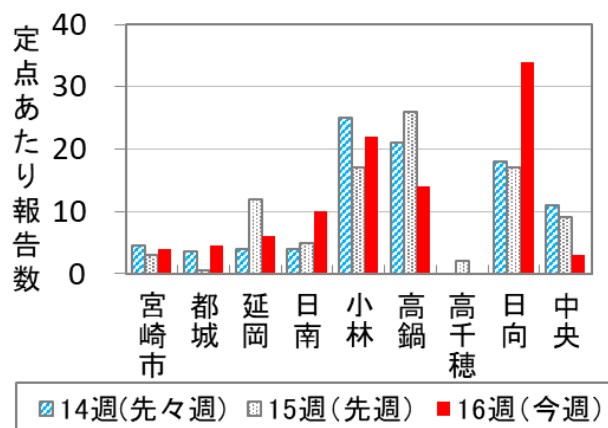


感染性胃腸炎 発生状況

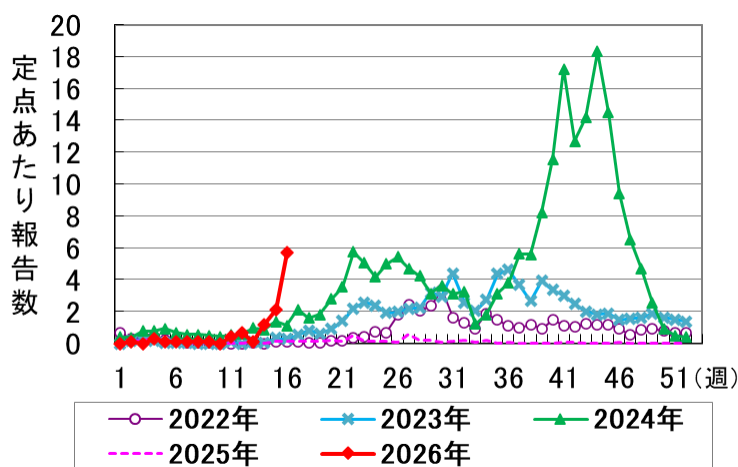


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

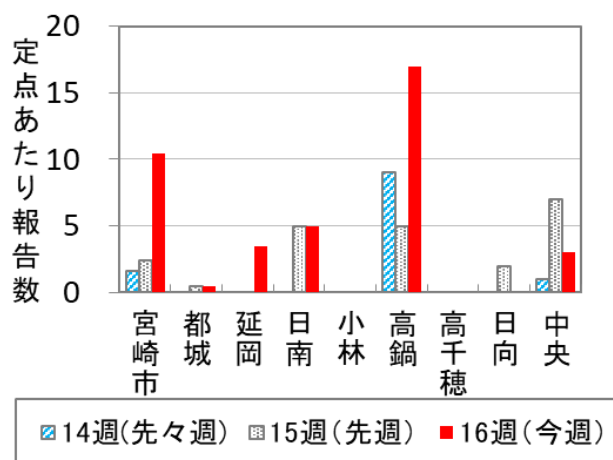


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.29)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢はいずれも5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(10.4)
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(5.0)
小林	感染性胃腸炎(22.0)
高鍋	手足口病(17.0)
高千穂	水痘(1.0)
日向	咽頭結膜熱(3.0)、感染性胃腸炎(34.0)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、水痘(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026年第15週:4月6日～4月12日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	1
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		3	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		8	
受付検体数		12	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス
検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2026 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	244 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	44 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	8 例	エムポックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	3 例	レジオネラ症	32 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
	急性脳炎	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例	水痘(入院例)	17 例	多剤耐性緑膿菌感染症	3 例
	梅毒	160 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	87 例	麻しん	56 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 88%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 100%と横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,132 人(2.3)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約 1.0 倍であった。鳥取県(7.2)、山形県(5.3)、北海道(5.0)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 10,396 人(4.6)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.0)の約 0.8 倍であった。島根県(10.4)、岐阜県(9.9)、愛媛県(8.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第16週(04月13日～04月19日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	30	12	3	1	1				2	1	4
	定点当り	1.07	0.43	0.33	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00	0.50	2.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	7	9	4	2	2						1
	定点当り	0.25	0.32	0.44	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	31	30	7	4	9			1		7	2
	定点当り	2.07	2.00	1.40	2.00	4.50	0.00	0.00	1.00	0.00	7.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	9	9	5							3	1
	定点当り	0.60	0.60	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	63	36	6	4	2		3	1	2	9
	定点当り	2.47	4.20	7.20	3.00	2.00	2.00	0.00	3.00	1.00	2.00	9.00
感染性胃腸炎	報告数	116	124	20	9	12	10	22	14		34	3
	定点当り	7.73	8.27	4.00	4.50	6.00	10.00	22.00	14.00	0.00	34.00	3.00
水痘	報告数	10	10	4	1	1				1		3
	定点当り	0.67	0.67	0.80	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	32	85	52	1	7	5		17			3
	定点当り	2.13	5.67	10.40	0.50	3.50	5.00	0.00	17.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	4	5	2		1		1				1
	定点当り	0.27	0.33	0.40	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	8	3			2					1	
	定点当り	0.53	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	13	9	1	2	1					
	定点当り	0.27	0.87	1.80	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	11	9	1	3	5						
	定点当り	1.83	1.50	0.33	1.50	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2026年 第15週(04月06日～04月12日)

		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	937	949	227	109	150	50	66	90	44	112	101
	定点当り	33.46	33.89	25.22	27.25	50.00	25.00	33.00	45.00	22.00	56.00	50.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～16週 保健所受理分)

2類感染症	結核	41例(2)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例(3)										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	4例					日本紅斑熱	1例		
	レジオネラ症	2例										
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例					劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例		
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例					水痘(入院例)	4例		
	梅毒	18例(3)	播種性クリプトコックス症	2例					破傷風	1例		
	百日咳	29例	麻疹	1例								

()内は今週届出分、再掲